

中国：2019年の自転車生産輸出入状況等について

中国自転車協会は4月14日に2019年の自転車業界の生産輸出入及び業界を取り巻く状況等について発表した。

中国自転車協会発表文書

www.china-bicycle.com/News/View/89ce62ad-4b66-48d0-aa55-aab034681122

それによると、2019年の自転車生産台数は対前年比11.2%減の6,500万2,000台、電動自転車生産台数は対前年比10.1%増の3,609万3,000台であった。この数値は、中国各地の業界団体の調査集計結果と国家统计局の一定規模以上の企業(その年の主な業務による売上が2,000万元以上の工業企業)に対する調査結果とを合計したものである。

また一定規模以上の企業の売上高は1,238億3,000万元で対前年比5.5%減、実現利益は52億9,000万元で対前年比11.9%増であった。営業利益率は4.3%で対前年比0.5ポイント改善された。

2019年の自転車輸出台数は5,251万台で、対前年比11.4%減、輸出金額はUS\$28億5,000万で、対前年比12.4%減、輸出平均単価はUS\$54.2で対前年比1.2%の下落であった。一方、自転車部品の輸出金額はUS\$29億5,000万で、対前年同期比8.4%増となった。また電動自転車の輸出が初めて減少に転じ145万3,000台となり、対前年比22.6%減、輸出金額はUS\$6億300万で対前年比24.1%減となった。

自転車については、シェア自転車の影響が薄まり高付加価値製品開発という本来の姿に戻りつつあるものの、海外市場が厳しく輸出環境は厳しい。また電動自転車については、新しい国家標準やCCC認証の実施により高品質化が進んでいる一方で、やはり輸出は欧米向けを中心に厳しさが増している等としている。

2020年に関しては、総生産量はほぼ横ばいか或いは僅かな減少を見込んでいる、とのことである。

詳細について関心のある方は、上記の発表文書を参照していただきたい。

以上